

# 熱田小児科クリニック掲示板

## 8月のテーマ 『夏風邪』

### (医)熱田小児科クリニック「ひまわり」スタッフ

典型的な症状は…のどの痛み(赤くなる) 発熱 発疹 下痢 腹痛など様々です。

#### 咽頭結膜熱 (プール熱)

特徴は…プールでの感染が多く見られることから、プール熱とも言われていますが、原因であるアデノウイルス自体には季節性がなく、最近では夏季に限らず流行の見られることがあります。

#### ヘルパンギーナ

特徴は…発熱と喉の痛みが特徴の小児ウイルス性咽頭炎で、夏風邪の代表的疾患です。

#### 手足口病

特徴は…病名の通り、手、足、口に水泡ができる感染症で、大部分のみの軽い症状です。4歳くらいまでの幼児に多い感染症ですが、感染力が強く、学童でも流行することがあります。

#### ☆注意すること☆

- ・夏の暑さで体力が落ちているところに、エアコンをかけっぱなしで部屋を冷やしすぎたり、寝冷えをしたりすると、夏風邪にかかりやすくなります。
- ・ほとんどは1週間で回復しますが、まれに髄膜炎、脳症などの重い合併症を起こすことがあります。発熱が長引いたり、頭痛や嘔吐などが続く時にはすぐ受診しましょう。
- ・髄膜炎とは…風邪のウイルスや細菌が髄膜(脳や脊髄を被っている膜)に感染し、炎症を起こす。高熱や激しい頭痛、けいれんなどの症状が出ると言われている。

#### ☆保護者の方へ☆

- ・症状が強い時は…高熱が出た時には、解熱剤、のどの痛みには炎症を抑える薬など対処療法を行います。熱がなかなか下がらなかったり、頭痛や嘔吐などがある場合には、早めに再受診しましょう。
- ・症状がなく元気な時は…特別な治療を必要としません。登園、登校は本人の状態を見て、主治医と相談して決めましょう。
- ・食欲がない時には…食べられない時でも水分はしっかり補給しましょう。食欲が出てきたら、消化の良い口当たりの良い物を食べさせましょう。喉が痛い時は、スープやヨーグルト、プリンなどがおすすめです。